

令和8年度 二本松市立小浜中学校 学校経営・運営ビジョン

◇福島県総合教育計画基本理念

「学びの变革」の推進に向けて

- ◇二本松市教育委員会教育大綱
未来を創る、心豊かで、たくましい人間の育成



《◆地域・◇生徒の実態》

- ◆過疎化・高齢化の傾向にあるが、教育に対する関心が高く協力的
- ◇素直で明るくまじめな生徒が多い
- ◇経験不足のため、自信に欠ける

《目指す学校像》

「生徒一人ひとりが輝く学校」

- ◇明るく活気にあふれる学校
- ◇伝統の上に新たな目標を目指す学校
- ◇地域に信頼される開かれた学校

《目指す生徒像》

「自立した個人としてたくましく生きる生徒」

- ◇主体的に学びに向かい努力する生徒 <創造>
- ◇積極的に挑戦し最後までやり抜く生徒 <気迫>
- ◇元気な挨拶や場に応じた言動ができる生徒 <礼儀>

《目指す教師像》

「生徒と共に学び成長する教師」

- ◇学ぶ楽しさと分かる授業を創る教師
- ◇生徒の心に響く指導ができる教師
- ◇未来への夢や希望を与えられる教師

スローガン 「元気発信！浜中魂！」

確かな学力を育みます

《学びプロジェクト》

1 日々の授業改善・校内研修の充実に努めます

①小浜スタイル”フラッシュアップ2026 “の実践

- 「みる」「きく」「つなぐ」の視点からの授業改善を小中連携して図る
- 【共通実践事項】
 - ① 課題は青線で囲む ②まとめは赤線で囲む
 - ③ 1授業1黒板の板書計画

②授業の充実

- わかる・できる授業づくりにむけた校内研修の充実
- 「教師が『みる』『きく』『つなぐ』授業」への改善

③学習への価値付けと「学び方」の指導

- 教科の学びの楽しさを感じさせる授業の実施
- 各種検定、コンクール等への積極的な挑戦

2 基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を図ります

①基礎学力の定着

- ICTを活用した個別最適化学習と反復学習の充実
- 「書く」ことの習慣化

②「家庭学習スパイラル」による家庭学習の習慣化・充実

- R-PDCAサイクルによる自己マネジメント力の育成
- 手帳活用による家庭学習の見える化

3 総合的な学習の時間の充実に努めます

- 「ふるさと学習」を通じた探求的な学びの充実
- 体験学習を通じた自己指導能力と発信力の育成

豊かでたくましい心と体を育みます

《心体プロジェクト》

1 道徳教育と学級経営の充実に努めます

①心に響く道徳教育の充実

- 「考え、議論する道徳」の授業実践
- 自らを振り返り、生き方を考える道徳の時間の充実
- ②自己存在感・自己肯定感を高める学級経営
 - 生徒の良さを認め、居場所を大切にしたい学級づくり
 - Q-Uの結果を活用した学級経営

2 積極的な生徒指導の充実に努めます

①小規模校のよさを生かした個に応じた指導

- 対話を大切に、一人ひとりに寄り添った指導
- 自主的・自律的な活動を促す指導

②学校不適應の予防と対応の充実

- 不登校を生まない、わかる授業と魅力的な学校づくり
- 早期発見・早期対応とSC等と連携した組織的対応

3 望ましい生活習慣の確立を図ります

①たくましい心身の育成

- 授業での運動量の確保と必要な運動の強化
- 充実感と達成感がもてる部活動の充実

②「小浜の教育」による基本的な生活習慣の啓発

- あいさつ等、基本的習慣の確実な習得
- メディアコントロールの実践

小浜元気プロジェクト

《地域に信頼される開かれた学校づくり》

<家庭や地域、小学校との連携強化による開かれた学校づくりの推進>

- 義務教育学校開校にむけた岩代地区小中合同研修や合同行事による連携（コネクトスクールの実施）
- HPや各種たより並びに自由参観デーを通じた情報発信の充実
- 小浜元気プロジェクトを核とした地域に貢献する教育活動の充実
- 学校運営協議会（CS）との連携